

② 食育に係わる教育

1年「野菜を食べよう」(1年教室)

3年「おやつを取り方を考えよう」(3年教室)

栄養教諭の垣崎先生、村上先生に食べ物についての指導を受けたことで、いろいろな食べ物をバランス良く食べることの大切さに気付くことができた。指導後は、給食や家での食事のときに、好き嫌いせずに食べることや、できるだけ残さずに食べることに気を付ける児童が増えた。おやつの食べ方やおやつの量についても考えることができて、とてもよい学習となった。

③ 地域の伝統文化に係わる学習

毎年、地域の方々が集って「越河地区文化祭」が越河小学校体育館で2日間にわたって開催されている。フロアには生け花や書道、工芸品など時間をかけて製作された地域の方々の力作が会場いっぱい展示された。会場には、全校児童の絵画や工作といった作品も展示された。また、ステージ発表では、学習発表会で披露した「ぶち合わせ太鼓」を地域の方にも見ていただこうと5年生の児童が参加し、勇壮な響きを体育館中にとどろかせた。子どもたちの演技を地域の方々はとても楽しみにしており、終了後には大きな拍手をいただいた。子どもたちにとっても、地域の方々の笑顔にしようと意欲的に取り組む姿が見られた。



① EM菌培養作業



① EM菌培養作業



② 食育の授業



③ 地域行事「越河文化祭」

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

検索サイト「ヤフーキッズ」

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

環境教育を3, 4年生の総合的な学習の時間「EM菌培養作業を通して水をきれいにしよう」の単元に位置付けた。地域のボランティアの方々の協力をいただき実施している。ボランティアの方には、2か月前から連絡を取ることで多くの方に来ていただいている。食育については、毎年、1年生と3年生を対象に、市内の栄養教諭に指導をしてもらっている。内容も児童の実態に即し、野菜嫌いの児童が多い学級には野菜を食べることの必要性を話し、菓子などの間食が多い学級には塩分、糖分過多による危険性について話をしていた。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

地域行事に参加する場合、公民館との連携を十分に取り、情報交換を行いながら計画的に行っている。年度初めに学校と公民館で年間行事の調整を行い、いつ頃、どの学年が、どのような形で実施すればよいのかについて打合せを行っている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

学校の教育活動について、年2回、児童、保護者のアンケートを実施。活動の実態を把握し、改善点がある場合は職員全体で共通理解を図った上で、改善策を講じている。また、学校評議員会を年2回開催し、外部の意見を聞くことで学校教育の質の向上を目指している。成果としては地域との協力体制をより具体的に計画できたこと。課題としては、人数が多く集まる場所では、萎縮する児童が多いという意見が挙げられた。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

様々な面でお世話になっているボランティアの方々へ、感謝の気持ちを表す会を設定した。その様子を学校だよりで取り上げ、その学校だよりを地域の自治会の回覧を通して、発信した。また、学校のホームページにも、活動の様子を載せ、各方面に発信している。地域の方々も、毎回の児童の活動を楽しみにしている方が多くいる。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

5, 6年生対象の環境教育について、仙南地域を活動拠点とする企業にお願いし、ごみ、電気など環境に関する出前授業を行っている。また、EM菌培養作業については、公民館を通じて、市内の団体と連絡、調整をしている。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

白石市内の小中学校は、ほぼユネスコスクールに加盟しており、年に数回、小中学校が集まり、活動報告を行っている。そこで、各校の実践を知ること、本校の活動にも取り入れられるところは積極的に取り入れるようにしている。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

地域の方と一緒に作業をすることは、いつもと違う学習環境ということもあり、より興味関心をもって取り組むことができた。また、外部の方と接することが多いので、進んで挨拶をしたり、その場にあった態度をとったりと礼節をわきまえた行動ができるようになってきた。

（3）平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

今年度と同じように主に3つの活動を中心に計画している。

○EM菌培養作業に係わる活動

4月中旬、地域の学習ボランティアの協力でEM菌培養作業を行う。
参加児童は、3、4年生とする。

○食育に係わる教育

市の栄養教諭を講師に、食育についての学習を行う。
対象学年は、1年生、3年生とする。

○地域の伝統文化に係わる学習

11月に公民館主催で行われる地域の文化祭に出演、出品する。
出演は、5年生。作品出品は、全学年が出品する。